

市指定文化財<史跡>

やまきこふん
山崎古墳

指定日 平成元年9月28日

所在地 菊池市七城町山崎



山崎古墳は、^{うてな}台地の南縁部、山崎集落の北側の裏山にある。

3基の石棺が知られ、1号石棺(船形石棺)、2号石棺(箱式石棺)は昭和7年(1932)9月、^{かいこん}開墾中に出土した。

1号石棺から人骨1体と^{てつぞく}鉄鏃8本、2号石棺から人骨2体が出土した。

くり抜きの方は非常に丁寧に作られ、朱塗りも完全にされていたが、前に発掘して貴重なものを取り去ったと思われる。

3号石棺の発見は1、2号よりも古く、南西約20mのところから道路拡張時に出土したという。

棺身は、長さ1.43m、幅75cmで、石材は阿蘇溶結凝灰岩。このように段丘中腹に箱式石棺と船形石棺が1mの距離で並列し、近くに家形石棺が位置することは、石棺様式の^{へんねんじよ}編年序を示すもので同一社会集団の3世代の墳墓であったと考えられる。